



高橋あきら 後援会だより

令和8年10月 第14号

発行：高橋あきら後援会
後援会：日立市河原子町1-1-1
電話：0294-33-1273
FAX：0294-32-3620



令和8年 第3回日立市議会定例会を開催

9月3日(木)から30日(水)までの28日間の会期日程で、定例会が開催されました。

本定例会の中で提出された議案等は計32件、陳情・請願は1件、それぞれ所管する事項毎に各委員会へ付託され、慎重に審査・調査を行いました。

その後、本会議の中で、各委員長より報告があり、議会としての採決の結果、人事案件については推薦・選任同意、その他議案については原案可決ならびに原案認定となりました。

議案の内訳		件数[件]
1	予算関係	4
2	条例・契約関係	8
3	その他(令和7年度決算の認定等)	4
4	報告	13
5	人事案件	3
6	陳情・請願	1

令和8年度9月一般会計補正予算【補正額】4億7,918万円

原案
可決

主な事業(補正の概要)

1. 子育て(未就学児)世帯応援給付金

支給事業費【3,171万円】

- ▶ 国の交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける子育て(未就学児)世帯に対し、給付金を支給
【対象児童数】約4,700人(約3,700世帯)
【支給額】未就学児1人当たり6千円
【支給開始時期】年内



2. 救急告示医療機関等物価高騰

対策事業費【2,950万円】

- ▶ 国の交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける救急告示医療機関等に対し、支援金を支給
【対象者】①救急告示医療機関 5施設
②救急医療協力医療機関 5施設
【基本額】50万円
【加算額】市消防救急搬送人数×3千円

3. 新交通導入事業費【1億3,443万円】

- ▶ 国の補助金を活用し、
①自動運転走行空間実証事業
一般道(大甕駅周辺)及びBRT区間で、自動運転車両の円滑な走行に向けた諸対策のデータ分析や有効性検証等を実施
②自動運転社会実装推進事業
一般道(大甕駅周辺)で実施する「自動運転社会実装推進事業」に対する市負担金を支出

4. 共創プロジェクト(公共交通のスマート化)

推進事業費【721万円】

- ▶ 電動キックボード等による次世代モビリティ運用の実証実験を行い、利用者の移動分析等を実施
【シェアモビリティ台数】36台
【ポート設置場所】14箇所



5. 無痛分娩費用助成事業費【1,000万円】

- ▶ 無痛分娩に対する費用の一部を助成
【対象者】令和8年4月1日以降に無痛分娩により出産した市内在住者
【助成額】上限10万円



6. 動物園運営経費【12万円】

- ▶ 寄附金を活用し、かみね動物園に展示する動物(ミズオオカゲ1頭)を購入



7. 桜の保護育成事業費【120万円】

- ▶ 寄附金を活用し、平和通りに桜1本を植樹

8. エスカルロード修繕・機能集約事業

(歩道橋維持管理経費)【364万円】

- ▶ エスカルロードを修繕及び塗装
令和8～11年度継続費総額 11億4,192万円

9. 施設整備事業費(小学校費)【6,327万円】

- ▶ 令和8年台風6号により被害を受けた宮田小学校の屋上防水改修工事を実施



民主クラブ(会派)の一般質問

Q 日立市議会定例会会議録 X | 検索 | 印刷

詳細は、日立市議会会議録「令和8年第3回定例会」をご参照下さい。



粕谷 議員

1. 就労支援施設への支援拡充について

- (1) 自主製品拡充と販路拡大について
 - ア 自主製品拡充の支援について
 - イ 自主製品の販路拡大について
- (2) 就労支援施設での運動習慣定着支援について

2. 観光拠点の活性化によるにぎわい創出について

- (1) かみね公園の魅力度向上について
- (2) 奥日立きららの里の魅力度向上について
- (3) かみね公園と奥日立きららの里の回遊性向上について

堀江 議員

1. 行政経営改革における成果の見える化について

2. 「データ連動型高血圧予防対策」の社会実装について

3. 子育て世代を支える小児医療体制の充実について

4. 持続可能な水泳授業の実現に向けた学校プールの在り方について

- (1) 学校プールにおける暑熱対策について
- (2) 学校プールの将来的な在り方について
- (3) 公共プールや民間施設を活用した水泳授業について



令和7年度決算審査

原案
認定

本定例会で審査された「令和7年度決算の認定」については、議会の議決により設置された決算審査特別委員会(委員8名)に付託され、慎重な審査が行われました。

民主クラブからは粕谷議員、助川議員、豊田議員が委員として参加し、令和7年度に市が実施した事業について、予算が適正に執行されたかを確認するとともに、事業の成果や課題、今後の方向性などについて審査しました。

その後の本会議では、委員長から市に対する5つの要望を含む審査結果が報告され、採決の結果、令和7年度決算は全会一致で認定されました。

一方で、本市には人口減少や少子高齢化、公共施設の老朽化への対応など、多くの課題もあります。

今後も限られた財源が市民生活の向上や持続可能なまちづくりにつながるよう、議会として引き続きチェック機能を果たしてまいります。

会計名	当初予算額	決算額 (前年度比)	
		歳入	歳出
一般会計	761億3,000万円	836億5,750万円 (2.8%減)	799億5,147万円 (2.6%減)
特別会計	506億9,735万円	463億5,176万円	480億1,407万円
合計	1,268億2,735万円	1,300億0,926万円	1,279億6,554万円

項目	令和7年度	令和6年度	早期健全化基準
経常収支比率	99.1%	97.9%	
実質公債費比率	2.6	1.9	25.0
将来負担比率	—	—	350.0
基金残高(年度末)	257億2,007万円	251億6,941万円	
市債残高(年度末)(一般会計)	561億2,273万円	576億 209万円	

※将来負担比率「—」: 基金等により将来負担が生じない状態

▼ 決算審査特別委員会から市への要望

- ① 総合戦略の成果を踏まえた効果検証
- ② 災害危険箇所ウェブカメラの機能強化
- ③ アンダーパス等における道路冠水対策の強化
- ④ 小児オンライン医療サービスの利用拡大と利便性の向上
- ⑤ 吉田正音楽記念館の若い世代の利用促進と有効活用



「決算審査」とは

決算書等の関係諸表の正確性を検証し、予算の執行や事業経営について、「効果があったのか」「無駄はなかったのか」など適正かつ効率的に行われているかを審査すること。



用語解説

経常収支比率

一般財源のうち、経常的な支出が占める割合。高いほど財政の自由度が低い。

実質公債費比率

借金返済に充てる財源の割合。高いほど財政負担が大きい。

将来負担率

将来負担する借金などの大きさを示す割合。高いほど将来負担が大きい。

基金残高

市の貯金。将来に備えるための積立金。

市債残高

市の借金。施設整備等のための借入金。



トピックス

誰一人取り残さない応急給水体制へ ～市民の命と暮らしを守る「水」の確保に向けて～

本市では、「日立市地域防災計画」に基づき、災害や大規模断水発生時において、給水車による組立式タンクへの給水や民間事業所との井戸の使用に関する協定により、市内30箇所で応急給水を行う体制を整備しています。

しかし、近年の地震や豪雨災害では、給水拠点に多くの市民が集中することや、自力で給水拠点まで移動することが難しい高齢者等への対応が課題として浮き彫りとなっています。

特に本市には、昭和40年代から60年代にかけて開発された12の山側住宅団地があり、高齢化率は

平均約52%と市全体平均の約33%を大きく上回っています。また、坂道が多い地形的な特徴から、災害時の飲料水確保が困難となることも懸念されています。

こうした状況を踏まえ、応急給水体制のさらなる強化に向けた取組を進めていきます。

本取組は、市民の命と暮らしを守る重要なものであり、安全・安心な生活環境の充実につながるものと考えます。誰一人取り残さない応急給水体制となるよう、今後の運用状況や課題についてもしっかりと確認してまいります。

応急給水体制強化のポイント（拡充内容）

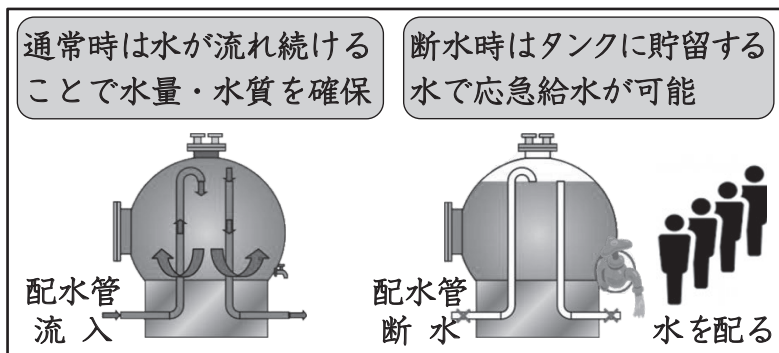
①貯水機能（給水タンク）付配水管の整備

- 給水タンクを配水管に取り付ける設備
- 通常時は、タンク内に水が流れ続け、水量・水質を確保
- 断水時は、タンク内に貯留する水で応急給水を迅速に開始可能

▶市役所本庁舎の西側駐車場（コンビニエンスストア海側）内に、6トン（2,000人分）の給水タンク整備を進める

②車載可能な給水タンクによる応急給水

- 軽貨物車等に搭載可能な300リットルのタンク（100人分）を活用する携行型給水の実施に向けた取組を進める
- ▶山側住宅団地に対する試行的な取組を実施
⇒課題を整理しながら所属する地域コミュニティ単会との地域協働による効果的な給水手段の確保を図る

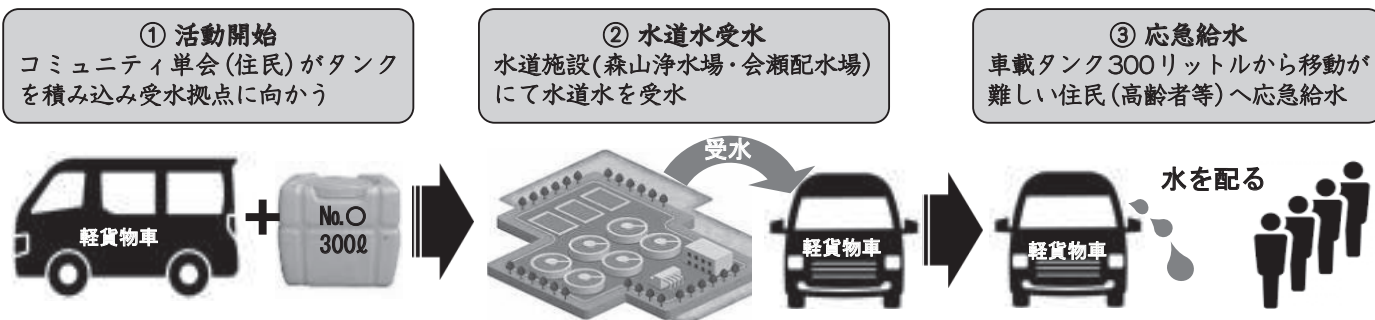


貯水機能（給水タンク）付配水管（イメージ図）



携行型給水に使用する給水タンク

【車載給水タンクによる応急給水の流れ】



◆給水タンクの受水拠点と対象地域

会瀬配水場	・高鈴台団地 ・堂平団地	・山の神団地 ・平和台団地	・青葉台団地 ・小咲台団地
森山浄水場	・中丸団地 ・台原団地	・塙山団地 ・みかの原団地	・金沢団地 ・根道ヶ丘団地

◆今後のスケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
貯水機能付配水管設置	委託設計		製作・工事					
車載可能な給水タンクによる応急給水			協議・調整				タンク貸出	

第3期日立市空家等対策計画の策定へ ～管理不全空き家の増加を見据えた新たな対策へ～

本市が令和3年度に実施した「空き家実態調査」によると、市内の空き家数は4,214戸にのぼり、平成28年度調査時の約1.5倍に増加しています。

また、このうち「難あり」「危険」と判定された管理不全空き家は約2,600戸と全体の約6割を占めており、空き家対策は本市における重要な課題となっています。

このような状況の中、現在、本市では「第2期日立市空家等対策計画」に基づき、空き家の発生予防や適正管理、流通・利活用の促進などに取り組んでいますが、現計画は今年度で計画期間が満了します。

今後、人口減少や高齢化の進展に加え、建物の老朽化による管理不全空き家の増加が見込まれることから、市では次期計画となる「第3期日立市空家等対策計画」の今年度末策定に向けた取組を進めています。

空き家は、管理が行き届かなくなることで、防災・防犯、衛生、景観など地域の生活環境に悪影響を及ぼします。安全で安心なまちづくりを進めるためにも、空き家対策は重要な取組です。

引き続き、次期計画の方向性や具体的な施策内容についてしっかりと確認し、実効性のある空き家対策の推進につながるよう取り組んでまいります。

◆第3期空家等対策計画策定の方向性

①管理不全空き家への即応（法改正への適合）

- ▶令和5年の国の法改正により、放置すれば「特定空き家」となる恐れがある空き家を「管理不全空き家」に認定し、行政が早期指導・勧告、固定資産税の減額特例を解除できる制度を活用するための運用体制を確立

②相続放棄等で状況に進展がない空き家の積極的解決

- ▶財産管理人制度などを活用し問題解決を促進

③行政経営改革の体現

- ▶データと民間活力を活用し、効率的な対策を推進

市内公園へのロボット草刈機が導入されています

～維持管理におけるマンパワー不足の軽減を図る～

本市の公園における除草作業などの維持管理は、公園を守る会や公園里親などのボランティア団体と市が協働で行っています。しかし、近年は高齢化の影響などからボランティア団体数が減少しており、市が対応する公園が増加傾向にあります。

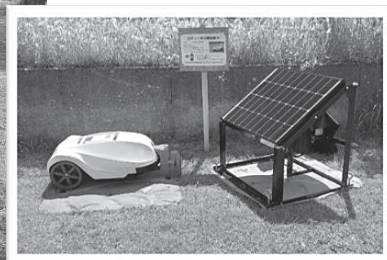
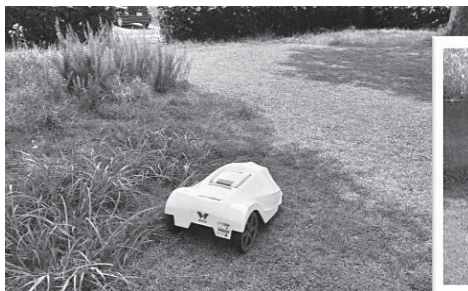
こうした状況を踏まえ、本市では除草作業におけるマンパワー不足の軽減を図るため、ロボット草刈機を令和6年度の試行導入を経て、令和7年度から本格的に導入しています。

現在は計6台を活用し、市内23公園の維持管理に取り組んでいます。

ロボット草刈機の活用は、作業の効率化や安全性の向上に加え、人口減少や高齢化が進む中においても公園の維持管理を継続していくための有効な取組です。

子どもから高齢者まで、多くの市民が利用する公園環境の維持管理に向け、今後の運用状況や導入効果を確認してまいります。

導入公園		導入台数
北部	・池の端団地第2公園 ・たじりはま児童公園 ・かわじりえきひがし児童公園 ・なめがわはま児童公園 ・べんてんいけ児童公園 ・おぼうち児童遊園 ・かしま児童公園	2台 ローテーション
中部	・おおせ第1児童公園 ・やまだ児童公園 ・どうだいら第3児童公園 ・かみまご児童公園 ・ねこうち児童公園 ・せきぐちなかよし児童公園 ・かねさわ団地第2児童公園	2台 ローテーション
南部	・だいはら第1児童公園 ・だいはらのぞみ児童公園 ・ねみちがおか児童公園 ・せや坂団地公園 ・からかいじり児童公園 ・どうのいり児童公園 ・ふきあげ児童公園	1台 ローテーション
常設	・十王パノラマ公園	1台



◆稼働時間…22時～4時

※日照時間や地域住民からの要望等により5時～10時に変更するなど柔軟に対応

編集後記

インフルエンザの流行が昨年より1か月以上早まっています。季節の変わり目でもありますので、どうぞご自愛ください。 高橋 あきら

仕事の不満や不安、悩まないでお電話を
何でも労働相談
0120-154-052
適合 CO 茨城